

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和2年2月14日

事業所名 キッズスクールメグシイ桜新町教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		クールダウンできる環境調整が必要と思っています。
	2	職員の配置数は適切である	○			利用人数に応じて適切に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		室内はバリアフリーですが、入室の際には段差があります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			他教室との日々の振り返りを共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			定期的に保護者会を開催し保護者様の意向等を把握し業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			結果だけではなく改善策についても提示するように心がけています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			顧問医師による評価、指導を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修で学んできたことなどを学習会を企画して周知しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的に見直し、保護者と面談を持った上で、計画内容を考えています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			利用者様の特性把握や能力に関する情報を得るため有効活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			SST、性教育に関してスタッフ全員で計画、実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			参加型、ロールプレイ型など様々な形態で実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇は集団活動を取り入れる等工夫しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			ルールのあるゲームや、一人でじっくり出来る製作活動を適宜行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			放デイ前に打ち合わせを持ち、その日の予定などを共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○	退勤時間が異なるため、翌日に共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援後には、支援内容を記録し、各自の課題の検証や改善を行っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的なモニタリングを行い、必要時にはその都度連携を取り、計画の見直しを行えるようにしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	○			複数のガイドラインの主要ポイントを反映しながら、日々の支援を行っています。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		役員と担当者がペアになり、少なくとも2名以上の職員で参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様にもご協力いただき、学校との情報共有や連絡調整を行っています。また、小さな変化も共有できるように学校との関係性を構築しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在利用はありませんが、必要時連携の取れる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相互理解するするために連携を取り、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在実績はありませんが、必要時には情報共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	必要に応じ意見交換を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	実績はありませんが他教室との合同イベント等での交流は行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	研修会への参加はしていますが、今後協議会との連携も行っていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		面談、お迎えの際、連絡帳などで共通理解を図っています。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者会、研修会などを開催しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		パンフレットやホームページ等で詳細を公開しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談、お迎えの際、連絡帳などで共通理解を図り、助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		不定期に開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付体制を整えて、適切に対応して、改善に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		令和2年1月からお便りを発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		守秘義務を意識して業務を遂行しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要時、連絡ノートを活用しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在実績はありませんが、今後十分配慮し検討していきたいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員間での内容通知はしていますが、保護者への周知は不十分であるので、今後対応の改善が必要と思われます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度の防災訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会への参加で知識を深め、社内でチームを作り対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	様々なケースや時代背景に沿ったガイドラインを策定できるよう、PTCAを繰り返しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者からの情報に基づき、個別に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例を職員で共有し、改善を行っています。